

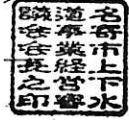


平成28年 2月10日

名寄市長 加藤 剛士 様

名寄市上下水道事業経営審議会

会長 池 昇



名寄市上下水道事業の経営状況について（答申）

平成27年9月30日付名業務第39号で諮問のあったことについて、次のとおり答申いたします。

#### 記

名寄市上下水道事業経営審議会は市長からの諮問を受け、平成27年9月から審議会を4回にわたり開催してまいりました。あわせて上下水道施設として緑丘浄水場、真勲別頭首工、下水終末処理場を視察し、施設の老朽化対策などの必要性を認識した上で、上下水道事業の現状、事業計画、財政状況と今後の見通し、料金のしくみ、改定率など慎重に審議を行いました。その上で、上下水道事業が市民生活はもちろん、経済活動に与える影響などを考慮した上で、次のとおり意見集約がされましたので答申いたします。

#### 1. 水道事業の経営状況について

水道事業につきましては、平成20年の料金統一以来、経費削減・投資の絞り込みや企業債の活用により、料金を据え置いたまま利益の確保に努めてまいりましたが、近年の節水意識の高まりなどによる使用水量の減少により給水収益は減収し、運転資金も減少してきています。今後の風連地区や自衛隊駐屯地への配水、老朽施設の更新事業には多額の費用を必要とすることから、計画的な建設改良事業の執行や適切な企業債の利用に考慮するとともに、今後とも経費の削減努力、事業の見直しを行いながら、事業経営安定化のため、適正な受益者負担の見直しが必要であります。

#### 2. 下水道事業の経営状況について

下水道事業につきましては、水道事業同様に施設老朽化による維持経費の増加や使用水量の減少により経営状況は悪化しています。管渠から侵入してくる不明水への対応や、管渠の老朽化は道路陥没などの原因にもなりうることから、老朽化した施設や管渠の更新を実施する必要があります。また、経営状況の把握では、企業会計制度により減価償却費などを経費

算入している水道事業がよりの確に経営判断できており、今後利用者へ経営状況の理解を得るうえでも、わかりやすい会計制度の検討が必要であります。

### 3. 審議結果について

#### (1) 水道事業について

市民生活に欠かすことができない水道事業を安定して供給していくために、近年の使用水量減少傾向や、経費の削減、施設老朽化更新の先送りも限界に近いことなどから、料金の引き上げ改定が必要であります。

#### (2) 下水道事業について

当面は現行の使用料と雨水経費などに対する一般会計繰入金により、財源が確保される見込みであることなどを踏まえ、料金については据え置きが妥当であります。

#### (3) 要望などについて

- ①今後の料金改定にあたっては社会情勢や市民生活への影響を考慮すること
- ②安定供給に必要な設備更新経費などに基づいた料金改定とすること
- ③今後とも事業の見直しなど経費の削減を図ること
- ④引き続き中期経営計画期間の5年間を目途に、経営状況の確認を踏まえた受益者負担の見直しを検討すること
- ⑤料金改定するにあたっては市民の関心も高いことから、わかりやすく経営状況を広く市民に知らせ理解を得ること
- ⑥未納者への対応についても十分留意すること

### 4. 附属資料

資料1 名寄市上下水道事業経営審議会名簿

資料2 審議経過

資料3 名寄市上下水道事業の経営状況について（諮問）写し